

宮津ふるさとの森を育てる協議会

令和7年度事業報告

I 森づくりの実践

① 雪起し等春季作業

日時：令和7年5月7日（水曜日） 午後1時30分から

場所：宮津市字小田 大江山シンボルゾーン

概要：参加7名（府・市のスタッフ3名含む）

令和5年10月に植樹したスギの木の保育作業（雪起し）、令和6年10月に植樹した広葉樹等の点検、獣防護柵の補強作業及び倒木の伐採処理等を行いました。

② 育樹祭 「育てよう四季のもり 2025」を開催

日時：令和7年10月25日（土曜日）

9時から12時まで

場所：宮津市字小田 大江山シンボルゾーン

概要：当日の参加者28名

当日は、大江山シンボルゾーンで、ヤマザクラ7本（獣防護柵を含む）を植樹しました。また、ナツツバキを保護するためのネット柵を設置したほか、大きく育った広葉樹を伐採しシイタケ栽培用の原木として林業研究会に活用いただきました。あわせて、シンボルゾーンに育つ大木・名木46本に銘板を取り付け、自然観察の一助としました。



ナツツバキの防護作業



ヤマザクラの植樹、防護柵設置作業

II 啓発活動

育樹祭「育てよう四季のもり 2025」の参加者に、大江山シンボルゾーンに育つ樹木の一覧表を配布し、ふるさとの森の大切さを啓発しました。

III 総会

日時：令和7年6月4日（水曜日）

場所：宮津地方森林組合 会議室